

営業期間 2023年12月2日(土)～2024年5月6日(月・振休)

※4/10(水)、17(水)、24(水)は定休日となります。

営業時間 8:30A.M.～4:00P.M. (4/1～5/6は8:00A.M.～3:30P.M.)

※積雪状況により営業期間が変更になる場合がございます。詳しくはお問合ください。

志賀高原 焼額山スキー場をご利用のみなさまへ

スキー・スノーボードは自然を相手にしたスポーツです。安全・安心にスキー場を楽しむために必ずご確認のうえ、安全にご利用ください。



スキー場の安全



スキー場利用約款

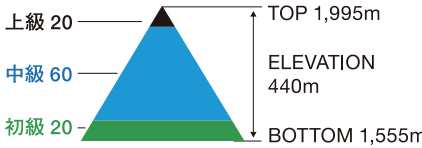


滑走条件付きエリア
のご利用規則

- 当スキー場ではコース外・立ち入り禁止区域の滑走は禁止です。
- コース外・立ち入り禁止区域・管理区域外は救助活動範囲ではございません。
- スキー場内滑走エリア以外より救助要請した場合は、捜索・救助費用が発生します。
- 滑走時には必ずスキー場内滑走エリアを確認していただき、斜面、雪質、自身のレベルにあったコースを選び滑走してください。

ご不明な点はスキーパトロールにお問合ください。

最長滑走距離 約2,4km / 標高差 440m



- 上級 ◆A4 オリンピックコース
◆A5 YAKEBI WALL
◆A6 スーパージャイアントスラロームコース
◆A7 YAKEBI VALLEY
◆D3 ミドルコース
- 中級 ■A1 ジャイアントスラロームコース
■A2 ゴンドラ連絡コース
■A3 ゴンドラ迂回コース
■B1 パノラマコース
■B2 パノラマインコース
■C1 唐松コース
■C2 白樺コース
■C3 グナコース
■D2 イーストコース
■O1 奥志賀連絡コース
- 初級 ●D1 ミドル連絡コース
●D4 イースト連絡コース
●E1 サウスコース
●E2 サウス連絡コース

- 👤 ナイター営業 ●●● 初級者コース ■●● 中級者コース ◆●● 上級者コース 🚡 2人乗りリフト 🚡 4人乗り高速リフト
- 🚡 4 フード付き4人乗り高速リフト 🚡 6 6人乗りゴンドラ 🚡 8 8人乗りゴンドラ 📍 ビューポイント 🎫 リフト券売り場 🧥 レンタルスキー・スノーボード
- 👤 スキー・スノーボードスクール 🏠 パトロール連絡所 🍽️ レストラン 🛍️ 売店 🧥 更衣室 🪞 化粧室 🅐 宿泊者専用駐車場 🅐 日帰り駐車場
- 🚦 スキー場内滑走エリア 🚦 スキー場管理区域境界線 🚦 非圧雪ゾーン 🚦 立入禁止(コース外) 🚦 スローゾーン

スキー場内 設置看板のご案内

- OPEN オープン・開放中
- スキー場 管理区域境界線
- スキー場 管理区域境界線
- CLOSE クローズ・閉鎖中
- コース点検中
- コース点検中
- 立入禁止
- 立入禁止
- 減速合流注意 SLOW DOWN TRAILS MERGE
- 合流注意
- 徐行エリア SLOW ZONE
- スローゾーン
- 合流注意 TRAILS MERGE
- 合流注意

※天候・天災・日照時間・コース状況・大会・イベントなどにより、営業期間・時間(ナイター含む)・営業内容を変更したり、リフト・ゴンドラを運転休止する場合がございます。お出かけ前にご確認ください。

このスキー場でスキーをなさる方へ

- (財)日本鋼索交通協会、(財)全日本スキー連盟、(社)日本職業スキー教師協会、全国スキー安全対策協議会、日本スノーボード協会
- このスキー場では、皆様の安全を守るために最善の努力をしています。皆様は次のことをご理解の上、別に定められた「スキー場の行動規則」を守って、事故のないようにしてください。(スノーボーダーは「スキー」を「スノーボード」と読み代えてください。)
- スキーには次のような特有の危険があることをご承知の上、これをご自分の注意により避けるようにしてください。
 - (1)雪・風・霧など、天候による危険 (2)ガケ・凹凸など、地形による危険
 - (3)アイスバーン・雪崩など、雪の状態による危険 (4)岩石・立木など、自然の障害物による危険
 - (5)リフト施設・建物・雪上車両など、人工の障害物による危険 (6)他のスキーヤーとの接触による危険
 - (7)みずからの失敗による危険
 - スキー場管理区域の外に出ないでください。管理区域内でもコースに指定されていない所には出ないでください。
 - 保護者の目の届かない所でのお子さまの単独行動は、お止めください。
 - 当スキー場では、この告知およびスキー場の行動規則の無視・軽視による事故には責任を負いかねます。
- 以上のことがらを承認できない方は、このスキー場でのスキーをお断りします。

スキー場の行動規則

- (財)日本鋼索交通協会、(財)全日本スキー連盟、(社)日本職業スキー教師協会、全国スキー安全対策協議会、日本スノーボード協会
- 他人を傷つたり、おびやかしたりしてはならない。
 - 地形・天候・雪質・技能・体調・混雑などの状況に合わせてスピードをコントロールし、いつでも危険を避けるために止まれるよう滑り方を選ばなくてはならない。
 - 前にいる人の滑走を妨害してはならない。
 - 追い越すときは、その人との間隔を十分にあけなければならない。
 - 滑り出すとき、合流するとき、斜面を横切るときは、上をよく見て安全を確かめなければならない。
 - コースの中で座り込んではいけません。せまい所やから見通せない所では立ち止まることも慎まなければならない。転んだときはすばやくコースを抜けなければならない。
 - 登るとき、歩くとき、止まるときは、コースの端を利用しなければならない。
 - スキーやスノーボードには、流れ止めをつけないでください。
 - 掲示・標識・場内放送などの注意を守り、スキーパトロール・スキー場係員の指示には従わなければならない。
 - 事故に出あったときは救助活動と通報に協力し、当事者・目撃者を問わず身元を明らかにしなければならない。